

年頭所感

今年もよろしくお願ひ致します

(一財)大阪科学技術センター

ATAC運営委員長 梶原 孝生

元号が平成から令和にうつり新しい年が始まりました。ATACは1991年(平成3年)に立ち上がりましたから、ちょうど平成と一緒に育ってきた組織です。今年は創設以来29年目を迎えますが、新しく令和のATACがスタートします。

その間に、近畿を中心に約230社の中小企業の技術支援を、コンサル件数にしてほぼ930件の支援を行って参りました。これもひとえに御相手の中小企業の皆様がATACを信頼して使っていただいた結果によるものと思っております。そして深く感謝しております。

新しい令和のATACとして、引き続き中小企業の技術支援とともに、開発の総合的な市場開拓、生産現場の品質向上策、従業員の教育などにも力を尽くそうと思っております。どうか今までに引き続きATACのご支援をよろしくお願い致します。

新しい年を迎え、世界は目まぐるしく動くことでしょう。米中経済摩擦はビジネスの世界にも必ず影響を及ぼしてくると思われます。身近なところでは雇用形態の変化です。政府が進めている雇用延長策の影響です。雇用延長は色々なところで雇用形態に影響を及ぼすでしょう。ATACのメンバーの高齢化も進んでおり、その対策に新規のメンバー加入を進めております。また、オリンピックや大阪万博の影響もよく考えておく必要があると思われます。

昨年を振り返りますと、あまりにも自然災害が大きすぎました。多くの人を感じているように、今後はこれらが繰り返し襲ってくることも考えられます。ここでBCPが再び注目されてきています。政府の「中小企業モノづくり補助金」にも審査の加点にこれが入ってきました。これらのことを考慮してATACとしてもBCPに精力的に取り組むことと致します。

本年もよろしくお願ひ致します。



第13回OB活用組織全国会議

OB活用組織全国会議は、企業OBで構成する中小企業支援機関の相互連携を目的とし、大阪科学技術センター ATAC の呼びかけで2007年に発足し、今回で第13回目の開催となる。今回は、2019年10月31日に（一般財団法人）大阪科学技術センターで、全14機関とオブザーバー1機関の参加を得て開催。ATAC 梶原運営委員長の開催の挨拶の

あと『発展』をテーマに積極的な討議をおこなった。

【第1部】各機関の活動状況

下記表に示すように、①各参加組織のご出席者から、②組織の概要と③活動状況のご説明をいただいた。

組織と出席者	組織の概要	活動状況
NPO 法人 北九州テクノサポート 代表理事 吉田 剛氏	1995年に任意団体テクノサポート会を設立。2003年に現NPO法人となる。産学官のコーディネートを中心に活動している。	今後、顧客企業の支援に横連携を強化してゆく。また、コンベンション協会とのビジネスマッチングを行っている。その他、エコアクション21で山口支部と合併の仕上げを行っている。
キャリア・コンサルタント 協同組合 理事 榎木 義彦氏	1993年にキャリア・コンサルタント協会を設立。1995年に経済産業省認可法人『キャリア・コンサルタント協同組合』となる。主に大企業出身の組合員約100名で構成。	外国人実習生の受け入れ事業歴16年。2018年、官公庁及び東京都の競争指名入札の資格を生かし、調査・分析・研修講師等の業務を受注。
近畿産業技術クラスター 協同組合 理事長 栗野 順二郎氏	組合員が培ってきた技術・ノウハウなどをクラスターとして展開し、ものづくり産業の発展に寄与することが基本理念。	関西産業活性協議会参加団体の一員としてビジネスマッチング事業の設立準備を支援。またものづくり補助金申請支援を行った。
(一社) 日本機械学会関西シニア会 会長 藤田 勝久氏	活動して14年目。機械学会の中で原則60歳以上のシニア会。支部は全国8か所。	社会貢献および支援活動として「親と子の理科工作教室」を開催。大学・高専など教育機関への支援、関西学生会卒業研究発表講演会に参加。シニア会と学生会との交流会を開催。その他、企業に対する技術・経営支援を行っている。
NPO 法人 ノウハウ会 理事長 藤崎 郁夫氏	「エコステージ」の認証団体。現在5社の支援を行い、間口拡大を引続き図って行く。	昨年は大阪府エネルギー政策課が主催する「環境交流パートナーシップ事業」を受託。超多忙となり今年度は入札に不参加。
NPO 法人 ATAC・MATE 奈良 副代表理事 綾木 強氏	ATACの分身として平成10年設立。平成13年からNPO法人として活動。会員数は12名。	奈良県内の中小企業を対象とした経営支援を行う。海外駐在経験者も多く海外展開の支援も行っている。
NPO 法人 ATACひろしま 理事長 米田 高三氏	正会員25名前後、賛助会員20名で構成。技能育成・伝承等の要望が増え賛助会員で対応。	個別企業支援事業として生産管理システム構築支援、開発製品の力学解析支援、品質管理指導、機械設計者育成、技能検定受験指導、等の要請に対応。公的機関の受託事業、セミナー開催、ものづくり補助金申請支援を行っている。
NPO 法人 ATACひろしま 理事長 米田 高三氏	2015年設立。アドバイザー登録者は400名ほど。昨年の320名から増加。	技術支援活動（主に技術コンサルティング）を行う。支援活動範囲は、関西から関東に拡大。その他登録技術アドバイザーによる交流会を毎年東京および大阪にてそれぞれ開催。
認定NPO法人 産業人OBネット 理事長 服部 晃氏	設立後13年。中小企業の経営課題解決支援や学生など若者の就業企業支援（職業体験講話等）を行う。企業定年退職者のアドバイザー（AD）で構成。全個人会員数137名（2019年8月末）、団体会員数57社。	活動方針は、成果測定の尺度を「利益」でなく「社会貢献度」におき、ADに対して公平・公開が原則。企業への支援活動の成立性向上。支援分野や出前教育の拡大と関係団体機関との連携強化。運営費用の捻出のため会員増強、寄付金募集を重点課題。
(公社) 大阪技術振興協会 理事 細谷陽三氏	設立後54年目。技術士の団体である。会員数は約200名。	公共工事の技術支援と技術士の受験相談セミナーが主で、中小企業支援は省エネ支援などを行っている。また、日本技術士会とは協力関係にある。

組織と出席者	組織の概要	活動状況
NPO 法人 ものづくり人材アタッセ 理事長 櫻井 秀治氏	プラスチック関連企業での現場経験・熟練技能及び経営管理についての専門能力を持ったシニアを組織化したNPO法人。34名在籍。	プラスチック関連の中堅・中小企業への技術・経営革新を支援する助っ人集団。支援対象企業をプラスチックのみならず、ものづくり全般へと拡大する方針から、一昨年度より「NPO法人ものづくり人材アタッセ」へ法人名を変更。
(株)パワー・マーケティング 代表取締役 米井 智巳氏	創業して24年。販売促進業務が主体。7年前からシニアの人材ビジネスを行う。実務のできる方々を企業に紹介・派遣するのが大きなウエイトを占める。	シニアの人材紹介・派遣の実績は昨年とほぼ同様。業種は、機械金属加工メーカー、電気器具・電子機器の開発メーカー、建築関連が多い。職種は、各分野における設計が大半。支援業務は、「ものづくり補助金申請書作成」や販路開拓のターゲットと方法確立など。
(一社) 関西産業活性協議会 (KIAC) 賛助会員 谷口 邦彦氏	独立した6団体(①NPO法人チャレンジ企業支援隊②認定NPO法人産業OBネット③NPO法人商縁プラザ④近畿産業技術クラスター協同組合⑤G-MAC LLP⑥NPO法人京都イノベーション・リソース)、大学2団体、企業4団体、フリー賛助会員から構成。	主な共通事業は1、K I A C 研修会(産業技術総合研究所見学会)、2、第96回『商い縁むすび広場』開催 3、研究・イノベーション学会関西支部との共催で講演会の実施 4、第1回きらりと光る技術のプレゼン大会などを行っている。
(一財) 大阪科学技術センター ATAC 運営副委員長 明石 祐二郎氏	設立から28年。 企業OB中心で現会員数は、22名、そのうち女性性は2人。	月1回の運営委員による企画会議開催。1、月2回の研究会開催、その後懇親会。2、年間行事は、ATACニュース2回発行、社長懇話会1回開催、OB活用全国会議1回開催、ATACサミット1回開催、各種講演会、企業見学会随時開催。大阪府産業支援型NPO協議会に9月より参加。

【第2部】大阪府の中小企業の振興策の紹介

大阪府商工労働部 課長補佐 矢野 直樹氏
・大阪府では大手・中堅企業で組織する「大阪スマートエネルギーパートナーズ(SEP)120社」と自社技術の活用や新規参入を目指す中小企業で組織する「おおさかスマエインダストリーネットワーク(SIN)118社」を設置している。SEPからニーズ情報をSINから技術提案情報をいただき、大阪府が3つの種類(クローズド型、オープン型、セミオープン型)からコーディネートを行う。その過程で相談、マッチング対応を行いイノベーションを推進してゆく。

【第3部】自由討論

「つかむ連携そして成立するには、どうすべきか」

◆主な意見

会員の高齢化の問題、中小企業の要望への対応などの意見交換を行った。

ボランティアとして活動している団体と収益を目的としている事業体とある為、具体的な対策について共通の対策をまとめることは難しい。

各団体・事業体が取り組んでいることを理解し、それぞれの団体・事業体で活用し、情報交換を行い連携をしていけば良いのではということで意見集約を行った。参加者のアンケートから、有益な会議であるとの意見が多く、来年度以降も継続していく方向となった。



「きたしん ビジネスマッチングフェア」に出展しました

第21回「きたしんビジネスマッチングフェア2019 with 大阪大学」が、11月6、7日の両日、マイドーム大阪で「あらゆるマッチングの可能性を追求」と銘打ち開催されました。

主に北大阪エリアの金属製品、化学合成樹脂製品、産業機械・電気器具、生活関連・情報通信・建設・サービス関係の各企業群と支援機関・団体が、産・学・官・金等あらゆる分野とのマッチングを探ります。



主催者よりの情報では、参加団体は昨年と同程度の125団体でしたが、来場者が3750名と昨年比25%増加し、活気が増した印象でした。

ATACブースでは、「輝く中堅・中小企業をめざして、考え、行動する技術コンサルタント集団」として、日頃の活動状況（生産工程・コスト改善支援、品質管理支援、商品開発支援、公的資金の導入支援等）を紹介しました。ブースを訪問いただいた方々からは、「自らの成果の提案法」や「ものづくり補助金支援活動」等について関心が寄せられました。早速お伺いして、今後ご相談する予定です。

(志田善明記)

第13回 ATAC講演会を開催します

『地震・雷・火事・おやじ 大事な諺忘れていませんか?』

一般財団法人 大阪科学技術センター ATAC

近年、地球温暖化の影響など自然災害が多発しております。政府も数々の災害に直面し、その甚大な被害を危惧して、企業の危機管理への支援に動き始めております。

直近では、大阪府北部地震や北海道胆振東部地震等による被害。また、異常気象による大雨や大落雷など雷被害も増え続け、新たな被害として避雷針だけでは防げない電子機器被害も深刻さを増しています。

このようなリスクから、自分の現場、自分の会社の安全安心をどう守るかを考えるべき時期が差し迫っています。

ATACは、この講演会を通じて自然災害への危機管理能力を向上するための一助となればと企画いたしました。ご多忙中とは存じますが、是非、ご参加下さいませよう御案内申し上げます。

開催日時：2020年2月25日(火) 14:30～19:00

(受付開始14:00～)

会場：大阪科学技術センター 7階 701号室

<http://www.ostec.or.jp/access.html>

交流会：7階 レストラン

会費：資料代として1,000円/人
(消費税込み・交流会参加費も含まれます。)

定員：35名

(先着順で定員になり次第締め切りさせていただきます。)



講演プログラム

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 【1】「事業継続力について最近の経済産業省の動向」 | 14:35～15:20 |
| 講師：山口 誠氏 (ATAC会員) | |
| 【2】「小規模建物の固有振動計測により地震から命とビジネスを守る」 | 15:20～16:00 |
| 講師：坂井 公一氏 (ATAC会員) | |
| 【3】「増え続ける雷被害・あなたの設備は大丈夫？」 | 16:10～17:00 |
| 講師：林 謙治氏 ((株)かんでんエンジニアリング) | |
| — 交流会 — | 17:15～19:00 |

申込方法：下記申込書に必要事項を記載の上、E-mailまたはFAXにてお申し込み下さい。
お申し込み・お問合せ先：

〒550-0004 大阪市西区鞠本町1-8-4

一般財団法人 大阪科学技術センター

技術振興部 ATAC事務局 中山

TEL: 06-6443-5323 FAX: 06-6443-5319 E-mail: atac@ostec.or.jp